

東京都墨田区と梶フェルト工業株式会社 通史年表

西暦		和暦	項目
約6000年前			墨田区域は海進・海退を繰り返していた。
400年から600年頃			墨田区付近に孔王部という部民が置かれる。
8世紀	701年	大宝元年	大宝律令制定。国一郡一里制が成立し、墨田区域は下総国葛飾郡に編成される。
	710年	和銅3年	平城京(奈良)に遷都する。
	794年	延暦13年	平安京(京都)に遷都する。
9世紀	860年	貞観2年	牛島神社(牛御前社)創建と伝えられる。
10世紀	951年	天曆5年	白鬚神社(白鬚大明神)創建と伝えられる。
11世紀	1020年	寛仁4年	上総介菅原孝標の一行が9月、帰京の途次あすだ川(隅田川)を舟で渡る。
12世紀	1192年	建久3年	源頼朝、征夷大將軍となる。
13世紀	1248年	宝治2年	都内最古、正福寺の板碑が作られ百花園・梅若小学校周辺など区の北部から出土する。
14世紀	1333年	元弘3年	鎌倉幕府が滅亡する。
	1338年	暦応元年	足利尊氏、征夷大將軍となる。天皇家が南北に分裂する。
	1398年	応永5年	「葛西御厨田数注文」が作成され、寺島・隅田・下木毛河・小村江などの地名が見える。
15世紀	1457年	長祿元年	太田道灌、江戸城を築く。
	1485年	文明17年	太田道灌、合戦のため隅田川に舟橋をかける。
16世紀	1524年	大永4年	北条氏綱、江戸城を攻め取る。
	1559年	永祿2年	「北条氏所領役帳」が作成され寺島・小村井・葛西川などの地名が見える。
	1590年	天正18年	隅田川の堤防修築がはじまる。
	1600年	慶長5年	関ヶ原の合戦。
17世紀	1603年	慶長8年	家康、征夷大將軍となり、江戸に幕府を開く。
	1615年	元和1年	隅田川遊覧が盛んに行われる。
	1620年	元和6年	幕府、諸大名に命じ、本所堤と日本堤を築く。
	1643年	寛永20年	3代將軍家光、牛島で鷹狩りをする。以後隅田川で鷹狩り・鶉飼いや漁を楽しむ記事が見える。
	1656年	明暦2年	幕府、隅田川での過度の船遊びを取り締まる(この頃、舟遊びが盛んだった)。
	1657年	明暦3年	明暦の大火(振り袖火事)によって江戸の過半が焼失する。死者10万人。(回向院のおこり)
	1659年	万治2年	12月13日、両国橋が完成する。
	1688年	元禄元年	幕府、本所経営を再開し、武家屋敷・寺院・町屋の移転をはかる。
18世紀	1702年	元禄15年	初代市川団十郎作「出世隅田川」が中村座で初演される。 12月、赤穂浪士、北本所の吉良邸(現本所松坂町公園)に討ち入る。
	1717年	享保2年	八代將軍徳川吉宗、隅田堤に桜樹100本を植えさせる。
	1719年	享保4年	本所奉行の職を廃し、本所地域は町奉行の支配下に入る。
	1771年	明和8年	長命寺門前の桜餅が有名になる。
	1774年	安永3年	隅田川に大川橋(東橋・現吾妻橋)が架けられる。
19世紀	1804年	文化元年	向島百花園が開園する。佐原鞠塙による。
	1833年	天保4年	10月場所より、回向院境内が相撲の定場所となる。
	1853年	嘉永6年	ペリー、浦賀に来航。
	1867年	慶応3年	江戸幕府が大政を奉還し、明治新政府が成立する。
	1868年	明治元年	旧代官支配地であった向島が武蔵県知事の管轄となる。 江戸を東京と改める。東京府が設置され、本所・向島一帯も東京府の管轄下に入る。
	1874年	明治7年	府下の区画が11大区に改められる。現墨田域は第6大区と第11大区に分属する。
	1884年	明治17年	東京帝国大学のボートレースが、初めて隅田川で挙行される。
	1887年	明治20年	吾妻橋が鉄橋に改架される。
	1889年	明治22年	大日本帝国憲法公布。 本所区の区域が整理される。また、南葛飾郡下に吾嬭村・隅田村・寺島村が誕生する。
	1894年	明治27年	総武鉄道(現JR総武線)佐倉から本所間開通。本所停車場(現錦糸町駅)が開設される。 日清戦争開戦、翌年日清講和条約調印。
	1896年	明治29年	4月1日 創業者 梶 政太郎 生まれる。
	1899年	明治32年	安政の大地震以降途絶えていた隅田川七福神が復活する。
	20世紀	1902年	明治35年
1903年		明治36年	吾妻橋岸に札幌麦酒会社のビールガーデンが開店する。 向島須崎町に大阪(ニシキ)麦酒会社のビヤホール朝日軒ができる。
1904年		明治37年	総武鉄道が本所停車場(現錦糸町駅)から両国停車場(現両国駅)まで延長される。
1909年		明治42年	両国に国技館が完成する。
1910年		明治43年	明治40年に続いて関東地方に暴風雨。本所・向島方面が大洪水となる。
1911年		明治44年	荒川放水路開削事業始まる(昭和5年完成)。

20世紀	1912年	大正元年	京成電機軌道株式会社(現京成電鉄)、押上から江戸川間・曲金(現高砂)から柴又間が開通。
	1913年	大正2年	日活が向島に撮影所を開設する。(大正12年廃止)
	1914年	大正3年	第1次世界大戦に参加。
	1921年	大正10年	5月8日 梶 政太郎の個人経営により、東京都向島に於いて羊毛小型フェルトの生産開始。
	1923年	大正12年	現在の京葉道路、錦糸町まで開通。 9月1日、関東大震災起こる。本所区内の家屋は焼失。
	1926年	大正15年	10月8日 三代目 梶 喜久雄 生まれる。
	1927年	昭和2年	駒形橋・蔵前橋が開通する。
	1928年	昭和3年	言問橋が完成し、竹屋の渡が廃止される。 京成電気軌道株式会社、向島から白鬚までの白鬚線開通。(昭和11年2月廃止)
	1931年	昭和6年	隅田公園が完成。 東武鉄道、業平橋から浅草間開通。 吾妻橋汽船合資会社、浅草吾妻橋から千住大橋間運航。 環状線(現明治通り)開通。現在の水戸街道寺島広小路まで通じる。 満州事変勃発する。
	1932年	昭和7年	個人より合資会社「梶フェルト製造所」に変更、工業用及び車両用フェルトの生産開始。 市域拡張・35区制実施により向島区成立。 両国橋改架工事完了。
	1936年	昭和11年	2.26事件。
	1937年	昭和12年	盧溝橋事件発生し、日中戦争開戦する。
	1939年	昭和14年	創業者 梶 政太郎 没 享年43歳。 12月15日 合資会社を株式会社に変更 梶フェルト工業株式会社 法人商業登記。 国認定工場に指定される。足立区に「五反野工場」設立。
	1941年	昭和16年	太平洋戦争開戦。
	1943年	昭和18年	東京都制施行。東京都成立。
	1944年	昭和19年	本所区は千葉県へ、向島区は茨城県への学童疎開始まる。
	1945年	昭和20年	3月10日 東京大空襲。特に本所方面は壊滅。 向島方面が最後の空襲で焼ける。 ポツダム宣言を受諾し、戦争が終わる。 両国国技館で大相撲が復活。
	1947年	昭和22年	5月15日:東京都下35区が整理され、22区制が実施される(8月練馬区が分立し、23区となる)。 5月:日本国憲法施行。 7月:両国で全国花火コンクール開催。(昭和36年7月で廃止)
	1948年	昭和23年	キャスリン台風による水害を受ける。
	1950年	昭和25年	隅田川の川開きが復活する。 国技館が台東区蔵前に移転する。
	1952年	昭和27年	新四ツ木橋開通。〈昭和48年複線開通し、新四ツ木橋を四ツ木橋と改称〉
	1953年	昭和28年	NHK、テレビ本放送開始。
	1954年	昭和29年	戦災により焼失した向島工場復興。
	1960年	昭和35年	都営地下鉄1号線、浅草橋から押上間開通。京成電鉄と相互乗り入れ。
	1963年	昭和38年	3月31日 4代目 梶 朋史 生まれる。
	1964年	昭和39年	東京オリンピック開催、東海道新幹線開通。
	1971年	昭和46年	首都高速道路6号向島線、7号小松川線開通。
	1978年	昭和53年	早慶レガッタ復活。 7月:両国の花火が16年ぶりに、隅田川花火大会として復活。
	1984年	昭和59年	11月:新しい両国国技館が完成。
1988年	昭和63年	水神大橋開通。	
1995年	平成7年	1月 羊毛長尺プレスフェルト製造廃止、新加工工場及び事務所増設。	
1996年	平成8年	四代目 梶 朋史 代表取締役 に就任。先代喜久雄・相談役 昌弘・取締役に就任。	
2000年	平成12年	大江戸線開通・両国駅(12月)。	
21世紀	2001年	平成13年	3代目 梶 喜久雄 没 享年75歳。
	2003年	平成15年	営団地下鉄半蔵門線の延伸開通、錦糸町駅・押上駅(3月)。
	2004年	平成16年	向島百花園200年記念イベント開催(9月)。
	2005年	平成17年	東京大空襲60周年を迎える。
	2006年	平成18年	有限会社 トルエフ 設立。
	2008年	平成20年	新タワーの名称が「東京スカイツリー®」に決定し、建設着工(7月)。
	2011年	平成23年	5月8日 創業90周年式典開催。